

HIVとエイズ

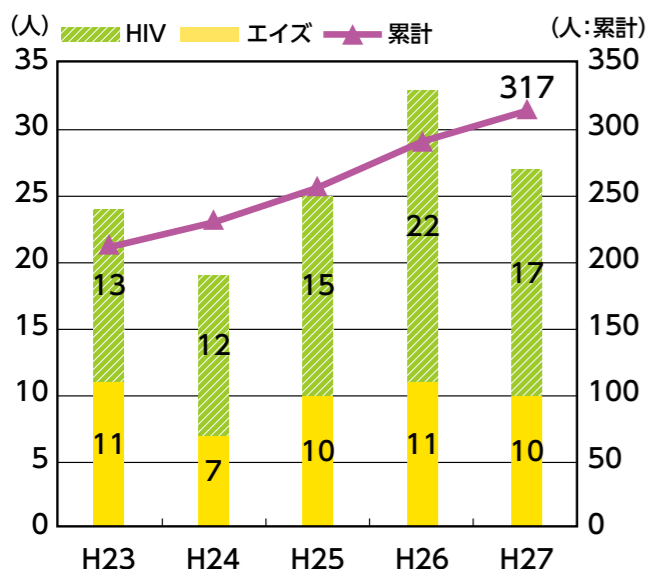
ヒトがHIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染すると、数年間は自覚症状のない時期が続きますが、進行すると病気とたたかう抵抗力(免疫)が低下し、本来なら自分の力でおさえることのできる病気が発症するようになります。この状態が「エイズ」です。世界エイズデーは、HIVとエイズに関する正しい知識についての啓発活動等が、世界的レベルで行なわれる日です。



沖縄県の現状

沖縄県は、全国的にみてもHIV/エイズの人口あたりの報告数が多い地域です。昭和62年の統計開始から平成27年までの累積報告数は317例(HIV感染者204例・エイズ患者113例)で、特に若い世代(20~30代)の報告が多くみられます。

沖縄県におけるHIV/エイズ報告数(過去5年)



vol. 32 毎年12月1日は世界エイズデー
~知っていても、分かっていても AIDS IS NOT OVER~



予防と治療

社会生活の中でHIVに感染する主な経路は性行為です。コンドームを正しく使用することは、HIVにかぎらず、梅毒やクラミジアなどの予防にも有効です。

治療薬の進歩により、エイズはコントロールできる病気になりました。たとえHIVに感染していても、早期に発見し適切な治療を始めれば、エイズの発症を回避することができます。

各保健所では、個人のプライバシーに配慮し、無料・匿名でHIV検査・相談を受けることができる体制をとっています。検査は簡単なものですが、予約が必要な場合がありますので、まずは保健所へお問い合わせください。

HIV検査の検査・相談のお問い合わせ先

保健所名	電話番号
北部保健所	0980-52-5219
中部保健所	098-938-9701
南部保健所	098-889-6591
宮古保健所	0980-73-5074
八重山保健所	0980-82-4891
那覇市保健所	098-853-7971

お問い合わせ 県健康長寿課 電話:098-866-2209 FAX:098-866-2289

広告



平成28年度 沖縄県功労者表彰式

県は、11月3日、平成28年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内のホテルで開催し、受賞者の親族や関係者など多数の出席の下、各部門で功績のあった10名の方々に翁長知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



●地方自治部門
外間 盛善 氏(79歳)

豊見城村議会議員、沖縄県議会議員及び沖縄県議会議員等を歴任し、永年にわたり地域の振興及び県民の福祉の向上に尽力し、地方自治の進展と県勢の発展に貢献した。



●教育部門 社会貢献部門
多喜 美枝子 氏(88歳)

永年にわたり大学通信教育を通して、広く県民に高等教育をうける機会を提供するとともに、女性の資格取得指導に尽力するなど、沖縄県の教育向上及び女性の社会進出に貢献した。



●伝統芸能・工芸部門
玉城 政文 氏(88歳)

永年にわたり琉球古典音楽の第一線で活躍するとともに、野村流古典音楽保存会会長や沖縄芸能協会会長として、沖縄県の伝統芸能の保存継承、普及発展に貢献した。



●社会福祉部門
呉屋 清徳 氏(80歳)

永年にわたり市町村社会福祉協議会の育成・指導にあたり、地域福祉の振興に尽力したほか、民生委員の前身となる福祉委員制度の創設、沖縄県老人クラブ連合会を始めとする多くの福祉団体の育成等に努めるなど、県民福祉の向上に貢献した。



●社会貢献部門
國吉 勇 氏(77歳)

永年にわたり沖縄戦で亡くなった者の遺骨や遺品の収集を行い、身元が判明した遺留品等を遺族へ返還するとともに、遺骨収集ボランティアを受け入れ指導するなど、沖縄県の戦没者慰霊に貢献した。



●教育部門
翁長 孝枝 氏(79歳)

琉球政府及び沖縄県職員として教育・福祉の分野で幅広く活躍したほか、沖縄県教育委員会委員長を務め、学校と地域社会の連携強化に尽力するなど、沖縄県の教育・福祉の発展に貢献した。



●文化・学術部門 伝統芸能・工芸部門
安次富 長昭 氏(86歳)

沖縄県工芸産業振興審議会会長として沖縄県の工芸産業振興の施策推進等に尽力するとともに、沖縄県文化財保護審議会委員、沖展・国展の審査員等を歴任し、沖縄県の文化芸術の保存継承、普及発展に貢献した。



●スポーツ振興部門
伊波 清孝 氏(80歳)

永年にわたりウエイトリフティング競技の指導にあたり、全国や世界で活躍する多くの人材を育成したほか、沖縄県ウエイトリフティング協会会長等の要職を歴任し、本競技の普及発展に努め、沖縄県の体育・スポーツの振興発展に貢献した。



●産業振興部門
板井 裕 氏(84歳)

本土復帰以前に沖縄県初のコンピュータ会社を立ち上げ、県内情報関連産業を牽引するとともに、情報産業分野を活性化させるため、沖縄県ソフトウェア産業振興協会を設立し、初代会長に就任するなど、沖縄県の産業振興に貢献した。



●一般篤行部門
重田 辰彌 氏(76歳)

首都圏においてIT会社を創業経営し、多くの県出身者の採用を行ったほか、世界ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション東京会長、関東沖縄経営者協会会長等の要職を務め、沖縄県の雇用支援、交流推進及び産業振興に貢献した。

お問い合わせ 県秘書課 電話:098-866-2080 FAX:098-860-1453